



個室ユニット 推進協ニュース4月号

1面 赤枝雄一 推進協会長 死去
全国大会 in 東海 開催を中止
認知症研修へ積極的な参加呼びかけ

2面 大事なことは知って正しく恐れること
全国に先駆けて活動再開
【連載】木村よしおのちよっと一言
介護保険委員長のよもやま話

3面 施設紹介【アミーキ】(群馬)
施設紹介【遠州の園】(静岡)

4面 介護ニュース・ダイジェスト
20年度ユニットケア研修660人受講
ズバリ回答! 人事・労務のお悩み
入会施設のご紹介、事務局から

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会 〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町 171-1 TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472

赤枝雄一 推進協会長 死去



赤枝雄一(あかえだ・ゆういち) 会長
平成25年4月 旭日双光章受章

(略歴)
一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会 会長
徳島県出身
医療法人赤枝会 理事長、社会福祉法人兼愛会 理事長、
学校法人東峰会 理事長、
公益財団法人赤枝医学研究財団 代表理事

全国個室ユニット型施設推進協議会(推進協)の赤枝雄一会長が4月1日午後11時2分、甲状腺転移性肺腫瘍のため、死去した。78歳。葬儀は故人の遺志により近親者で執り行った。

赤枝会長は、平成17年10月前倒しの介護報酬改定によって施設経営が不可能になることを避けるため、全国の新型特養に呼び掛けた。平成17年8月、賛同した100施設と「一般社団法人全国新型特養推進協議会(現「一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会)」を設立し、会長に就任。設立時から一貫してユニット型個室の優位性と推進の必要性を訴え続けてきた。平成25年度からユニットケアの質向上のため、ユニットケア研修事業を開始した。

◇これまでの主な活動◇

- 平成17年8月 一般社団法人全国新型特養推進協議会設立
尾辻秀久厚労大臣に直訴。平成18年4月の介護報酬改定までの6ヵ月間、特例措置として入居者1名に対し、月額上限3万円の補助費が支給されることが決まった。以降、基本報酬単価や居住費・食費の基準費用額の見直しなど、国に要望してきた。
- 平成22年10月 一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会に名称変更
- 平成25年4月 ユニットケア研修事業開始
- 平成28年～ 個室ユニットケア推進議員連盟との連携



加藤勝信厚労相に要望書提出(令和元年10月)

推進協ニュース休刊のお知らせ

「推進協ニュース」は2021年度4月号をもちまして、一時休刊いたします。早期にウェブサイトにリニューアルと併せて再開いたしますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。(事務局)

【事務局から】生前のご厚誼を感謝し、謹んでご報告申し上げます。後日、「お別れの会」を開催する予定です。日程など詳細は決まり次第、連絡いたします。

臨時理事会で新会長選任へ

4月7日、推進協は赤枝会長の死去を受けて緊急執行委員会を開き、4月中に臨時理事会を開催し、新会長を選任することを決めた。

これより前の3月24日、2020年度第3回理事会が開かれ、赤枝会長から「体調が万全ではないため今限りで(会長職を)退任したい」旨の声明(代読・赤枝真紀子事務局長)が寄せられていた。

全国大会 in 東海 開催を中止

2020年度第3回理事会
3月24日、推進協は第3回理事会を開き、「全国研修大会 in 東海」の開催中止など5議案を了承し、第16回定時社員総会に諮ることを決めた。議案の内容は以下の通り。

【第1号議案】介護保険委員の選任 上田かな氏(樹陽会理事長)、大塚小百合氏(ケアプラザさがみはら施設長)の2名を追加で選任。

【第2号議案】21年度事業計画案

▽第16回定時社員総会(6月23日)
▽第1回理事会(6月2日)▽新規事業▽ユニットケア研修事業▽認知症介護実践者研修。

【第3号議案】21年度予算案 経常収益計5799万円、経常費用計5679万円、当期計上増減額1205万円。

【第4号議案】入会の承認 ①アンミッコ(埼玉)、②第二倍楽園ホーム(東京)、③こまくさ野村渋池(長野)④なみき(滋賀)、⑤タンタン(大阪)、⑥リベルタヴィータ(大阪)、⑦美郷苑(兵庫)、⑧サンハート香月(山口)⑨とくりき春吉園(福岡)⑩風雅の里上野(大分)の10施設。賛助会員に加地コーポレーション株式会社(神奈川)。

【第5号議案】全国研修大会 in 東海 1年延期した全国大会(名古屋)の開催をコロナの影響が続いているため中止とする。なお、22年度は奈良大会を開催予定。

認知症研修への積極的な参加を呼び掛け

推進協勉強会 加藤厚労省課長補佐が講演

3月25日、推進協は「認知症施策の動向等について」をテーマに勉強会を開催し、約60施設が参加した。厚労省の加藤英樹認知症施策・地域介護推進課長補佐を講師に招き、東京・築地のスタジオからライブ配信した。加藤課長補佐は「認知症施策推進大綱」の5本の柱や新規事業の「伴走型支援拠点」、「認知症介護研修」などについて説明し、研修への積極的な参加を呼び掛けた。



加藤英樹 認知症施策・地域介護推進課長補佐

重視することが基本的な考え方になっている」と説明した。

○伴走型支援拠点で生きがい支援
新規事業の「伴走型の支援拠点」について「本人の生きがいにつながるような支援や、家族に効果的な介護方法や助言などを行う」と拠点の役割を話した。

○認知症介護研修を受けやすく
認知症介護関連の研修は受講しやすいよう、研修時間を短くするなど見直しが行われた。「認知症介護基礎研修」は原則150分程度のEラーニングで実施。「認知症介護実践者研修」は24時間、「認知症介護実践リーダー研修」は31時間で実施することとした。

○認知症の人や家族の視点を重視
19年6月に取りまとめられた認知症施策推進大綱(対象期間は25年まで)について「大綱で掲げている5つの柱は認知症の人や家族の視点を

大事なのは知って正しく恐れること

濃厚接触者受け入れ施設 インタビュー

コロナ禍、自治体は在宅の要介護濃厚接触者の対応を急いでいる。濃厚接触者の積極的な受け入れに乗り出している会員施設「松濤」(北海道)の今千尋理事長と「東雲の丘」(沖縄)の石島衛理事長に、その経緯や準備状況、感染拡大防止に成功した理由などについて聞いた。石島理事長は「知識を持って正しく恐れることが大事だ」とアドバイスしている。

【石島理事長】

◎有老で4人受け入れ



濃厚接触者を受け入れた有老

1月から3月まで濃厚接触者となった高齢者4人を同じ法人の住宅型有料老人ホーム「マチュピチュ」で受け入れました。

1人は陽性となった家族が入院し、介護者が不在となった方です。ケアにあたる3名の職員を選抜し、固定配置しました。勤務シフトは3名で話し合っ調整をしてもらいました。

他の3人は県南部の有料老人ホームの入居者です。ホームでクラスターが発生し、定員12人のうち9人が入院。濃厚接触者3人の受け入れを沖縄県から依頼されました。職員4名でチームを編成し、対応しました。

受け入れる部屋はトイレ、風呂、洗面台、キッチンが備わっている自立型エリアの3部屋に決めました。廊下をグリーンゾーン、居室をレッドゾーンに区分し、メモやペンのような備品であってもレッドゾーンか

らの物品の持ち出しを禁止しました。

受け入れたことで法人全体に感染対策が徹底できたと感じています。先日、東雲の丘の職員1名が陽性となりましたが、感染対策が徹底していたこともあり、クラスターは発生しませんでした。知識を持って正しく恐れることが大事だと思います。

【今理事長】

◎3月末に陰圧室完成、4月受け入れ

1月に北海道庁から「介護者が陽性になり、被介護者が濃厚接触者となった場合、受け入れる施設になつてほしい」と依頼がありました。ショートステイの1部屋を受け入れる居室に決め、陰圧装置の設置工事をしてもらいました。

受け入れる居室は他の居室より広いので、部屋を2分割し空調を整えて、手前は防護服を着脱するイエローゾーン、奥を利用者が暮らすレッドゾーンにしました。

3月末に陰圧装置が完成し、令和3年度から対象者を受け入れることになりました。地域貢献の一助になればと思います。



簡易陰圧装置

イエローゾーン、ドアの奥がレッドゾーン

全国に先駆けて活動再開

静岡支部 オンラインを活用



静岡県内のユニットリーダーがオンラインで交流

新型コロナウイルス感染の影響で支部活動が開催できない状況が続いている中、静岡支部(阿井孝訓支部長)は3月9日、全国に先駆けてオンラインによる研修を再開した。テーマは「ユニット職員の育成方法」、中邑愛介護長(愛華の郷)が講演した。オンライン研修が初めての参加者もいたが、阿井支部長は「今回の研修をきっかけにオンラインの活用慣れに慣れてほしい」と呼び掛けた。

オンラインで施設間交流を活かす

静岡県内のユニットリーダー35名(会員8名、非会員27名)が参加した。阿井支部長は「利用者が自分に合ったサービスを提供する施設を選ぶ時代だ。選ばれるには質の高い人材の確保と育成が重要だ。コロナ禍でもオンラインを活用することで、施設間交流を活かすこと、情報共有や課題解決の場にするなどで互いに高め合っていきたい」と開催の主旨を語った。

声を吸い上げ実現できる組織づくりを



中邑介護長

地域の介護福祉士を育成している中邑介護長は「サービスの質の向上には「根拠ある介護が提供できる、アセスメント力がある、チームケアができる」といった質の高い職員の育成が必須だ。人材育成と同様に育成した職員が定着するための環境作りも重要だ」と話した。

講義後、6班に分かれてグループワークが行われ、各施設での人材育成の方法や課題について話し合った。「離職率が高い」と悩む職員に対し、離職率が低い施設の職員が「新人がやってみたいと思うことは、やってもらえるようにサポートしている。職員の声を吸い上げ、実現できる組織作りが大切だと思う」とアドバイスした。

またグループワークを通して「指導する人によって考え方や教え方が異なる」「目上の職員を指導するの自信が持てず難しい」「多床室に勤務していた職員にユニットケアの理解を得るのが難しい」など指導側が抱える課題なども明らかにした。

中邑介護長は「教えることを通して、人は学び、共に成長している。スタッフやチームを育成するには自分自身も学び続けることが大事だ。共に学び合っていこう」と語りかけた。

オンライン活用に慣れて

閉会の辞で阿井支部長は「オンラインの活用は便利だし、必須になってくる。初めての参加で操作に戸惑った人もいたかもしれないが、経験することで成長できる。これをきっかけに、今後も積極的に参加し、慣れてほしい」と結んだ。



【連載】木村よしおの「ちよつと一言」



「ちよつと一言」

○中国のコロナ感染者は僅か?

コロナ騒動の震源地である中国は、いち早く独裁的手法でコロナを押し込めたとしています。感染者数は約10万人、死者5千人未満(この数字には疑問?)と僅か。一方、民主主義国家アメリカは3千万人近くの感染者と50万人以上の死者を出しています。

○全体主義的独裁国家そのもの

しかし、香港での大衆弾圧などからも分かるように中国は全体主義的独裁国家そのもの。民主主義国家との最大の違いは公正な選挙が行われていないことです。公正な選挙は時の政権の暴走を食い止めるブレーキであり、ブレーキが全く存在しない国家が多数になれば、世界は1930年代の独裁主義全盛の様相となってしまいます。

○民主国家・台湾の成功

一方、民主国家の台湾は、中国・武漢での異変情報にいち早く気付き、中国のように都市封鎖や個人への厳しい行動制限などの手荒な手段をとらず、防疫体制を強化したり、感染情報を国民に伝えたりして感染の抑制に成功しました。

○「医療大国」実現を

同じ民主主義国家である日本は情報を隠蔽することなく、国民の信頼獲得を第一とし、コロナ禍を契機として医療提供体制の充実を図ることが急務です。コロナウイルスワクチンを海外の製薬企業頼みにするのでなく、ワクチンや治療薬の国産化を早急に取り組みしなければなりません。

(注)メルマガ「木村義雄のちよつと一言」第13号を要約しました。

第22回

介護保険委員長のよもやま話



ＬＩＦＥ活用は四苦八苦?

○2021年度介護報酬改定のQ&Aが出ました。施設系のように提供されるサービスや体制が自己完結する場合、科学的介護情報システム(LIFE)の活用は四苦八苦しながら進むでしょう。

○他方、通所介護で当該の加算を取得する場合、必要不可欠な情報収集が無理なときもあると思います。例えば、様式の中にアルプミンの値を求められても、かかりつけ医のいない利用者もいます。また介護支援専門員に問い合わせても不明で終わることもあり得ます。



藤村 二郎
介護保険委員長

○事業所では解決できないケースがある一方で、加算取得を大目標にしている事業者では、情報の取得が難しい利用者が行き場を失い、難民化する恐れも。入浴介助加算(Ⅱ)も同様です。

○事業所の努力と連動しない加算は将来様々な問題になる気がします。実務する関係者に横断的な業務の評価があるのかどうか分かりませんが、評価がない部分を他の事業者者に求めることになれば、加算の取得は難しいでしょう。

群馬県

社会福祉法人パトリア



特別養護老人ホーム

アミーキ



施設外観

～ 施設は「ふるさと」、入居者同士は「お友だち」～

【施設の紹介】
「アミーキ」は2004年に伊勢崎市に開設。北関東自動車道伊勢崎ICから15キロの地にある。周囲には畑や田んぼが広がっており、敷地では赤堀村292号古墳などいくつかの古墳が見つかっている。



【加藤綾子施設長から】

ラテン語で「パトリア」は「ふるさと」、「アミーキ」は「お友だち」を意味します。美しい自然に恵まれた「ふるさと」のような施設で入居者が食事や趣味の時間などを楽しめる「お友だち」のような関係を構築したいと思っています。

【施設の取り組み】



ピアノ演奏をする音楽療法士

○音楽療法
開設当初から音楽療法を実施している。週2回行っているセラピーでは、利用者が馴染みの楽曲をピアノ演奏に合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする。美原樹パトリア理事長が経営する美原記念病院の音楽療法士が担当している。
○誕生日はオーダー料理
誕生日に利用者の「食べたいもの」を提供している。誕生日当日には、



誕生日には調理師がメニューを届ける

調理師がバスデーカーを添えたりクエストメニューを利用者のもとへ届けている。
○調理師と一緒に料理



ユニットでたこやき作り

ユニットごとに、たこ焼き、お好み焼き、群馬名物の焼きまんじゅうなどおやつを手作りしたり、寿司、ラーメン、餃子などの昼食を調理師と一緒に作ったりしている。出来立ては一段と美味しいと好評だ。
○麺は箸で食べたい



箸を利用したりハビリ

普段はスプーンを利用して食いたい」と希望する入居者に、箸を利用したりハビリを実施した。リハビリの成果がでて、少しずつ箸で食べられるようになった。

○看取りケア
「入居された時から看取りは始まっている」。この言葉を職員だけでなく家族とも共有している。最後までその人らしく過ごせるよう、家族の協力を得ながら、利用者お一人おひとりに合わせた支援を日々の暮らしの中で提供している。昨年度の退所者全員を施設で看取ることができた。

○身体拘束廃止
「身体拘束はないのが当たり前」という考えのもと、取り組んでいるので、開設当初から身体拘束は一例もない。高齢者の尊厳ある生活や質の高いケアにむけて全職員が一丸となって努力している。また、美原理事長が経営する老健「アルボース」の群馬抑制廃止研究会に参画し、積極的に活動している。

○災害への備え



非常食などの保管場所を確認

不測の事態に備えて非常食や飲料水を備蓄している。昨年度は施設内の勉強会で賞味期限切れ間近の非常食の試食や、保管場所や防災設備の確認などを行った。

【取材後記】多職種がそれぞれの専門性を活かし、利用者中心のケアを提供している様子が伝わってきました。(事務局・山崎)

〒379-2217 群馬県伊勢崎市磯町435-1 TEL:0270-20-2121 FAX:0270-20-2197 URL:http://e-amici.org/

【特養】定員50人(5ユニット)・【ショート】定員10人(1ユニット)・【デイサービス】定員32人

静岡県

社会福祉法人 遠江厚生園



特別養護老人ホーム

遠州の園



施設外観

～ 利用者の思いを大切に、支え手には感謝の気持ちで～

【施設の紹介】
磐田市(静岡県西部)にある「遠州の園」は、昨年、設立40周年を迎えた「遠江厚生園」(大石英二理事長)が最初に開設した特養。当初、多床室だったが、2012年にユニット型として移転開設した。東名高速磐田ICから3キロ、茶畑の中にある。

【施設の取り組み】

○大人の学校
「入居者に変化のある生活を送ってほしい」、「昔を思い起こせるような事をしたい」という想いで生活相談員が「大人の学校」を立案。「玉ねぎ染め」や「しめ縄飾りづくり」を体験してもらったり、「磐田地方の方言を当てるゲーム」など毎月様々なイベントや催しを企画している。



玉ねぎ染めのハンカチ

○バケツでもち米作り

昨年6月、もち米作りに挑戦。入居者がそれぞれバケツにもち米の苗を植えた。水やりや雑草取りを行いながら、成長を見守った。10月には稲刈りの経験が無い職員が、入居者から「昔はこうやって鎌で刈っただよ」と指導を受けた。



稲わらでしめ縄飾りを作成

収穫。刈った稲わらで「しめ縄飾り」を手作りした。
【事例研究発表会】
毎年2月に開催される法人主催の合同事例研究発表会。昨年、遠州の園からは3つの取組みを発表した。

①笑顔をつなぎたい
コロナで長引く面会制限。少しでも入居者と家族に安心してもらえることにはないかと生活相談員が「笑顔をつなぐプロジェクト」を企画した。入居者の近況と写真をカードにして家族に送り、同封した封筒に家族からの手紙や写真を入れて届けてもらう。昨年4月から始めて1200通以上やり取りで笑顔をつないでいる。

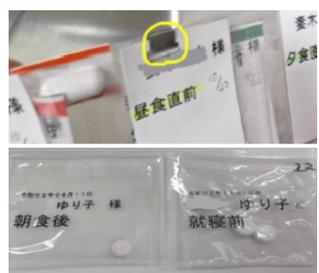


お孫さんから届いた手紙 家族に送ったカード(写真と近況が記載されている)



お孫さんから届いた手紙

か」など「なぜなぜ分析」を行い、「因果関係図」を作成した。分析を踏まえて、対策を立案し、実施、評価を行った。何をどのように間違えたのか分析することや、多職種の見解で考えることが誤薬の再発防止につながる。ことがわかった。



薬袋をクリップ止め(上) 印字を拡大(下)

※Root-Cause-Analysis。ヒヤリハットや事故の真因分析をする手法。

③家族支援が難しくても
ショート利用者の緊急時対応は原則家族が行うことになっているが、家族からの支援が難しいケースが増えてきている。担当ケアマネや関係機関と連携し、必要に応じて相談員が支援に入るなど、柔軟な対応が必要だとわかった。

【水野義徳施設長から】



ご入居者、ご利用者の一人ひとりの思いを大切に、そして支えてくださるご家族、地域の皆様、ボランティアの皆様などへの感謝の気持ちを持って運営しています。

【取材後記】何かできることはないか、工夫して改善できないか

職員一人ひとりが常に前進しようとする印象を受けました。(事務局・山崎)

〒438-0002 静岡県磐田市大久保522番地1 TEL:0538-38-2145 FAX:0538-38-1559 URL:http://www.tohtoumi-kouseien.or.jp/

【特養】<ユニット型>定員60人・<従来型>定員40人【ショート】定員20人【デイ】定員40人

介護ニュース・ダイジェスト

3月1日～3月31日

介護に関する政府機関や団体の動向を掲載しています。赤字は重要ニュースです。(注)最終回。

■在宅系も優先接種へ

(3月3日) 批判浴び、方針転換
厚労省は在宅系サービスの介護職員についても新型コロナウイルスワクチンの優先接種の対象とすることを関係自治体に通知。与党や介護団体から在宅系対象除外に批判が出ていた。

■新型コロナウイルス対応事例

(3月9日) 高齢者施設での感染
厚労省は「高齢者施設等における新型コロナウイルス感染症に関する事例集」をまとめ、関係自治体に介護施設・事業所への周知を要請した【介護保険最新情報 Vol.1・928】参照。

■介護保険課長会議資料

(3月9日) 介護報酬改定の留意点
厚労省は全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議の資料をHPに掲載。厚労省予算案や第8期介護保険事業、介護報酬改定などの概要や留意点など盛り込んだ。

■指定取消・停止153件

(3月9日) 介護事業所指導監査
令和元(2012)年度の指定取消・停止件数は153件で前年度と同数。営利法人が105件で最も多く、次いで社会福祉法人の22件(うち特養3件)。

■変異コロナで初の死亡例

(3月16日) 神奈川県で2人
神奈川県は変異型の新型コロナウイルスに感染して2人が死亡したと発表した。50代(高血圧症あり)と70代(病歴等不詳)。

■解釈通知などを公表

(3月16日) 21年度介護報酬改定
厚労省は2021年度介護報酬改定の解釈通知(確定版)などを公表。「業務継続計画(BCP)」策定に関する留意点や「科学的介護推進体制加算」の算定手順などを盛り込んだ【介護保険最新情報 Vol.1・933】参照。

■高齢者接種12日から

(3月18日) 4月中に全国拡大
厚労省は新型コロナウイルスワクチ

ンの高齢者接種について「4月12日から試行し、同月中に全国拡大する予定」と発表した。

■緊急事態宣言全面解除

(3月18日) 5つの防止策
菅義偉首相は首都圏4都県に発出している緊急事態宣言を21日の期限をもって解除すると発表。①飲食店支援(協力金1日4万円支給) ②3月末までに全高齢者施設の集中検査実施などを示した。

■コロナの人権侵犯175件

(3月19日) 法務省が集計
法務省は新型コロナウイルス感染をめぐる人権侵害の相談数を発表。救済手続きを開始した「人権侵犯事件」が175件。「差別的な待遇」74件など。

■介護報酬改定Q&A(1)

(3月19日) 処遇改善加算など
厚労省は2021年度介護報酬改定に関するQ&A(Vol.1・1、通所介護などの3%加算や処遇改善加算など25問)を関係自治体に送付【介護保険最新情報 Vol.1・941】参照。

■特養の基準改正を通知

(3月19日) 厚労省が改正通知
厚労省は「特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準について」の一部改正について「入所定員をおおむね10人以下を原則とし、入居者の日常生活に支障がないと認められる場合、15人までのユニットを認める」とした【介護保険最新情報 Vol.1・942】参照。

■外国人雇用検が初会合

(3月19日) 6月に意見集約
厚労省の「外国人雇用対策のあり方に関する検討会」は新型コロナウイルス感染症で就業不安や帰国不能などで苦しむ外国人への支援・救済の議論を開始。6月ごろ中間報告をとりまとめる。

■介護報酬改定Q&A(2)

(3月23日) 安全確保加算など
厚労省は2021年度介護報酬改定のQ&A(Vol.2)を公表。特養関連では「安全対策確保体制加算」などを盛り込んだ【介護保険情報 Vol.1・948】参照。

■令和3年度調査は4本

(3月24日) 介護報酬改定の検証項目
第200回介護給付費分科会は2021年度介護報酬改定に関する調査研究項目を①介護医療院②LIFE活用③介護文書負担軽減など④福祉用具貸与の適正化の4本とした。

■赤枝会長、退任を表明

(3月24日) 推進協第3回理事会
21年度事業計画案や予算案、「全国研修大会in東海」の開催中止を了承した第16回社員総会に諮ることに決めた。議案了承後、赤枝会長が今限りで退任の意向を表明した。【1面参照】

■合格率7割台を回復

(3月24日) 介護福祉士試験
第33回介護福祉士国家試験の合格者は5万9975人(合格率71.0%)で7割台を回復。経済連携協定(EPA)介護福祉士候補生の合格者は953人(合格率46.2%)。

■令和3年度予算が成立

(3月26日) 過去最大106兆円
一般会計総額106兆6097兆円の過去最大規模の2021(令和3)年度予算が参議院本会議で可決され成立した。

■介護報酬改定Q&A(3)

(3月26日) 経口移行、褥瘡など
厚労省は2021年度介護報酬改定のQ&A(Vol.3)を公表。特養関連では、身体拘束、経口移行、褥瘡ケアなど【介護保険情報 Vol.1・952】参照。

■介護報酬改定Q&A(4)

(3月29日) 認知症ケア加算など
厚労省は2021年度介護報酬改定のQ&A(Vol.4)を公表。特養関連では「認知症専門ケア加算」など【介護保険情報 Vol.1・953】参照。

■老人保健課長を更迭

(3月30日) 深夜送別会で厚労省
厚労省は営業時間短縮要請中に送別会を開いた眞壁馨老健課長を減給1カ月とした上、厚労大臣付に異動させた。出席した職員22人を近く処分。田村憲久厚労相は給与2カ月分を自主返納する。

■大阪府「まん防措置」要請

(3月31日) 新規感染者が増加
大阪府は政府に新型コロナウイルス特別措置法に基づく「まん防防止等重点措置」の適用を要請することを決めた。

ズバリ回答！ 人事・労務のお悩み

退職代行業者から
退職届が届いたら
【今月の相談内容】



※退職代行業者と名乗るところから無断欠勤している職員について「〇月〇日付で退職する」という内容の郵便が届きました。職員とは連絡がとれない状況にあり、どうすればよいでしょうか？
※弁護士や労働組合ではない退職代行業者

【回答】

○本人意思以外、強制力ない
退職代行業者から連絡がきたときは、一般的には、退職の意思表示が本人の意思によるものかどうか、確認する必要があります。通常、本人に連絡することになります。代行業者から届いた文書の中に「本人への連絡を禁止する」とするような文言や、代行業者に連絡してほしい旨の文言が入っている場合があり、この内容に強制力はありません。
○資料の送付を依頼
本人と連絡がとれない場合、代行業者から届いた書面が本人のものか、自筆や捺印などで確認し、確認できないときは、本人からどのような依頼があったのか、代行業者に確認したり、本人の意思を確認できる資料の送付を依頼したりするとよいでしょう。

○労使で退職ルール確認

代行業者からの連絡が、本人の意思である場合は退職の申出を認めざるを得ません。いま一度、退職申出のルールを労使で確認しておきましょう。



推進協監事
特定社会保険労務士
栗田淳二

2020年度ユニットケア研修 約660人が受講

コロナの影響で開始が遅れた2020年度ユニットケア研修。12月8日から3月19日までオンライン開催し約660人が受講した。オンラインならではのメリット
講義は全国各地の実地研修施設の施設長や職員約20名などが担当。それぞれの職場から講義した。これまで、開催場所への移動時間などの理由で機会が少なかった。講師も担当する回数が増えた。また、受講者も色々な地域の施設の職員と交流できる機会になった。

○オンラインならではのメリット

講義は全国各地の実地研修施設の施設長や職員約20名などが担当。それぞれの職場から講義した。これまで、開催場所への移動時間などの理由で機会が少なかった。講師も担当する回数が増えた。また、受講者も色々な地域の施設の職員と交流できる機会になった。



ななせと 七里(老健)

- 支部名 埼玉支部
法人名 (福) 久幸会
法人代表者 理事長稲庭千弥子
施設代表者 施設長井上秀也
住所さいたま市見沼区東宮下
1-152-1
電話 048(884)8201

はつとふる(特養)

- 支部名 東京支部
法人名 (福) 友遊会
法人代表者 理事長稲庭千弥子
施設代表者 施設長高橋由美子
住所東大和市桜が丘2-53-6
電話 042(516)3985

【会員施設数】 383施設 (令和3年4月13日現在)

◆ケアハウス慈恩(特養)

- 支部名 静岡支部
法人名 (福) 岳陽会
法人代表者 理事長渡邊睦
施設代表者 施設長貫名徹
住所富士市五味島281
電話 0545(66)0200

◆オービーホーム(特養)

- 支部名 兵庫支部
法人名 (福) 丸
法人代表者 理事長田中華代
施設代表者 施設長片岡真理
住所神戸市垂水区名谷町字猿倉
273-7
電話 078(706)9488

◆あさひ園みやじ(地密特養)

- 支部名 熊本支部
法人名 (福) 郷寿会
法人代表者 理事長福嶋隆
施設代表者 施設長澤田美千代
住所八代市宮地町169番地1
電話 0965(45)5595

【事務局から】

2006年6月に創刊した「推進協ニュース」。一時、休刊することになりました。約14年間、原稿執筆や情報提供、取材など、多くの方にご支援ご協力いただき、170号まで発行することができました。本堂にありがとうございます。残念なことに、この170号で赤枝会長の訃報を掲載することになりました。赤枝会長は当会創設から一貫して個室ユニット型施設の優位性と推進の必要性を訴え続けてきました。赤枝会長の確固たる意志を継いで歩んでいくためにも、これまで同様のご支援、ご協力を賜りたく、事務局一同、心よりお願い申し上げます。(山)